

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターつぼみ園		
○保護者評価実施期間	2025年10月16日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年10月16日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤の発達相談員が配置されているため、保護者や保育士の発達関連の相談ごとに対応してもらいやすい。	日頃から話しやすい雰囲気づくりもあり、支援者側からも積極的に話しかけて、距離間を感じにくい心がけをしている。園児のことで保護者からの相談ごとがあったりするときには、保育士は発達相談員にも共有して専門的な視点も入るようにしている	発達相談員と保育士とは日常的にも更に連携を深め、保護者と園児のことをより良く理解できるように努力していく
2	縦の交流が多く体験型の保育をしているので、園生活をしている間に施設見学や公園遊び、公共交通機関の利用、クッキングなど経験が増える	自分で見て触って感じてみることで、経験して積み重ねられるため、自分の中に分かりやすく記憶できる。 絵本やお話の中から自分が体験したいことを提案して実現できる 家族だけではいろんな事情で行けない場所に行くことができる	アンテナ高くして情報収集が出来るようにする。 日々園児や保護者との信頼関係を深め、保護者の付き添いがなくても行動でき利用に理解と信頼を得る 子どもの好奇心を高めるような日常のかかわりを深める
3	給食を園内で調理しているので、本来の温冷を感じながら食事できる。食事にこだわりに多い児がいるので、偏食等の対応をすぐに対応できる。	メニューを見て大方の予想をつけて事前に準備してある。 地域の商店で購入し、安全に食事が出るように骨の除去や大きさにもお店に協力してもらい安全で安心した食事になるようにしています	家庭での様子や給食の様子も調理員とも連携し、園児が少しずつ食への気落ちの広がりや興味を持てるように今後も食事提供をしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	兄弟支援が不十分であること	行事の中で兄弟の参加が大丈夫な場合があります。大人と一緒に見学ではなくて園児位階の子どもとしての参加場面が考えられていないこと	行事はこうりゅうのばでもあります。今後は保護者の方にもお香を聞きながら、日露に応じて内容を充実できるように検討していきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターつぼみ園

公表日 2026年2月4日

利用児童数 31名

回収数 31名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	4	0	0	広い園庭があるので走り回れるので確保されている	園児に対して、法定基準は満たしているのですが、今後もできるだけ広く部屋を使えるよう工夫していきたい。 園児が園庭で楽しめていることをご理解いただけているようで良かった
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3	0	1	・先生の負担を考えるともっと増やしていただけると軽くなるのではと思う ・もう少しいれば先生も子どもと向き合える時間もゆったり出来る気がします	今年度の保育士は休暇を活用するものが数名おり、年度途中から人員が減ってしまいましたが、法人内で応援保育士が来て基準は満たしている。また、保育内容に応じて職員を配置したり、その都度の対応もしている。ゆとりのある配置にはなかなか難しい
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	2	0	0		建物の構造上、見通しのよくない箇所もあるので、より一層子ども達が安全で安心できる環境を作っていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	2	0	0		毎日、清潔を心掛け、清掃を徹底していきたい。子ども達が気持ちよく過ごせる空間にし、不快な思いをさせないよう努力していきたい。トイレにもエアコンを設置し快適な空間にした
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	0	0	0		日々、子ども達と接する度に、変化への気付きや、特性の理解を心掛け、共有し保育にあたるよう、今後も専門性を磨き、努力していきたい。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	0	0		昨年から施行（令和6年11月）で、公表されて半年しか経過していないが、支援プログラムには園の支援内容を記載している。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	2	0	0		年に数回個別支援計画を踏まえた支援の方法について説明の機会を設けている 充分なご理解を得られていない部分については、何度もくり返し計画内容とともに作成されていること
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2	0	1	親子保育や保護者教室を楽しみにしています	ご理解いただけていない面につきましては説明していく
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	19	5	3	4	・系列の園との交流はあるが、一般の幼稚園や保育所等との交流はない	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	0	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	29	1	0	1		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	1	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	0	2	楽しんでくれているようです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	0	0	0	いつも気にかけてもらい満足です	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年2月4日				
児童発達支援センター つぼみ園						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	決められた基準の部屋になっている。定員もちょうどいい	空間に対して物品を出し過ぎないように心がけて、有効スペースを広くためるようにしていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	3	常に協力し合って保育はしているが、法人内の園や事業所から応援職員を派遣してもらって児に対する保育士数を確保している。短期のパートアルバイトも活用している	定員に対する最低基準を応援で満たさなくてもいいようにしていく。職員の有給休暇が取りやすいような人員が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	2	温暖化により気温の高い日が多いためトイレのサポートも支援者側への体調管理が重要になってくる。また、児への動作負担もあるためエアコンの設置を行った	玄関から教室までは一目できないため的に保育士のれんけいでカバーしている。また事務所から確認できるので職員一同で情報の伝達や共有がされている。物理的な方法が見つかり次第導入もしていきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	1	常に清潔で誰でもわかりやすく使いやすいように整理整頓には気を付けている。活動に合わせて場所移動があるので切り換えにもなるが時間がかかるので、活動時間が少なくなる設定にも気を付けている	教室などの普段使う場所は、毎日行っている。場面場面が終了した時にも必要に応じて行う。窓ガラスや壁、天井に至るところまでになると、追いつかない現状。子ども達が快適で安全に活動できる空間になるよう配慮していきたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	完全に個別にする場面はほぼないが、個別の部屋はない。しかし必要に応じて、園長室や発達相談室をそれに充てるようにしている。	その時その時の状況に合わせて個室にできる所を準備することは可能だが、長時間安静が必要だったりリラククス部屋が必要となると専用の部屋の検討が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	0	毎日の反省会、職員会議や行事等ごとに職員皆で振り返り、次につなげていけるように全員の物としている	全職員が様々な意見を出し合い、中身の充実した業務につなげることが出来るように全職員会議などで検討していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	保護者からの意見は貴重なメッセージとして受け止め、尊重し、改善していくようにしている	保護者からの意向は一つ一つ受け止め全職員に伝え改善できるところはすぐに改善していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	職員会議や反省会などで、話題に出たり気になったりした時には、その都度話し合っ改善や修理を積極的に行っている	定期的職員会議や毎日の反省会で意見を聞く機会があるので、しっかり聞いて改善につなげる所は今後もそうする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	18		法人独自の第三者を交えて評価を行う予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	確保している。日常の業務で時間の確保は難しいが、研鑽を積めるよう機会を設けたり周知するようにしている。研修は法人内外問わず参加できるし、園内研修も行う。参加は現地でもリモートでも可としている。	確保されている。全障研、障保連や園内企画の研修、法人から提案される研修等様々研鑽の機会が設けられている。対面、リモートなど受講方法は様々だが、職員が参加しやすい方法を選べるようにもしている。また、職員の職位等に合わせた研修もあるので、受けやすいように希望聞いて調整する
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	令和6年度に作成	H p に公表されている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	自分の意見を表現しにくい園児に対しても良く日常の様子を観察して理解し、保護者の方々の思いも日頃から大切に、一人ひとりの子どもに合わせた計画を生活や発達面の評価も踏まえて立てていきたい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	園児をよりよく知る身近なグループ担当者で構成された会議で話し合い、共有して意見をまとめ、こどもの最善の利益を考慮し、計画を立てている。	集団での保育が中心なので、支援にあたる職員は固定化されない。その分、職員間で個々の園児の支援を共通理解し検討重ね、子どもの利益になるように努力していく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0	一人一人に添った計画を立て、職員間で共有し、保育につなげている。	計画が職員に周知され、職員によって対応が違う事がないように、子ども達がわかりやすい生活が出来る支援を心がけている

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0	発達検査や園独自のアセスメントシートを使用し、子どもの状況を確認している。発達面の評価は「新版K式発達検査」を主に使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	子どもの支援に必要な項目ごとに具体的に支援内容を設定している	計画は本人支援中心に設定され立てられている。他の支援については、今後の課題としていきたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	0	グループ会議や職員会議で月一回世手を出し支援内容を設定している	普段から話し合うことを大切にし、意見を出し合いチームでの立案を行うが、満足せずにチームの連携を大切にしたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	毎日リーダーを交代し、個性を大切に内容を工夫している。こどもが毎日楽しみにできるよう、変化をつけている。	当日の総リーダーやグループリーダーがこどもの視点に立ち、保育を更に楽しいものにしていくよう意識している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	グループとしての支援であるが、その中で、個別で細やかな所に目標を立て計画している部分もある。個別の変化などに気付き話し合い、支援に取り組んでいる。	集団での目標、個人での目標を、今後も出しながら、一人一人に応じた支援をしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	0	前日の反省と当日の毎朝、朝礼で確認し、配置や全体が分かるように共有している。また、グループ毎に打合せもしている。	確認もれに注意しながら連携して支援を続ける
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	0	毎日、一日を振り返り、反省会を開催している。また、グループノートを回して共有している。	今後も、全員に行き渡るよう、不在だった職員にも伝えていくようにしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	日誌やグループノートなどを、毎日記録することを徹底している。	記録を基に、日々の積み重ねをより良い方向に改善していきたい。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	新入園は入園直後3か月間は毎月、半年毎に一度、モニタリングを行い、こどもの様子を確認し、変化について計画を見直している。	年2回の発達相談時に、様々な面から児を見つめ直し、こどもの最善の利益につながる計画にしていきたい。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0	担当保育士、発達相談員、管理者、保健師、教育委員会が参加し、確認の場となっている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0	発達相談日に地域の担当保健師、保育士、アドバイザーなどが同席し、行政との連携支援体制を整えている。	必要な時は、医療関係者や保健師と連携を取り、情報共有し協力し合いながら支援していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	併行通園児について、保育所の先生に発達相談時に同席してもらい、発達状況を共有している。また、会議を設け、申し送りもしている。転園児については、申し送り、連携、体験入園時の同行、をしている。	今後も併行通園先と連携し、より良い支援につなげていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	就学先に申し送り、支援内容を伝え、連携している。体験入学や見学に行く。また、就学先からは、行動観察で来園があり、こどもの情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	18	0	会議等（園長出席）があるので連携させてもらっている。 同法人内では連携できている。	職員全体で、他の事業所との連携はまだできていない。 研修もあるので、積極的に参加を勧めていきたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	様々な研修の情報を提供し、参加できるようにしている。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	0	管理者が、定例会議や研修に参加している。	園からの代表として参加することが多く、職員全体のものになりにくいので、伝達研修をしていきたい。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	0			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	17	0	近くのこども園との交流を今年度も数回行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	毎日の連絡ノートや登降園時、また、電話や親子保育日などに伝え合い、共通理解を図っている。	様々な機会を通じて気軽に話ができるようにし、こどもの状況や課題についての共通理解につなげていきたい。そのために、まず職員から声かけをし、信頼関係を深める努力をしていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	各種行事、親子保育、保護者教室や年2回の発達相談に参加していただき、情報共有や学習の機会を提供している。また、適宜面談や交流もあり、話せる機会を設けている。	保護者同士の仲間作りも大切だと考え、そのような場としても活用してもらいたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	入園説明会において、項目を一つ一つ説明している。また、玄関に掲示物を配置し、自由に閲覧してもらっている。	今後もわかりやすく説明していけるよう、努力していきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	計画を立てる際、面談をしたり保護者の記入用紙があり、思いを記載していただけるようにしている。	保護者、発達相談員、職員、保健師さん同席で確認するので、今後も更にこどもの最善の利益につながるような話をしていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	発達相談時、計画を口頭で説明し、内容に了承して頂けたらサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	年間計画に、グループ懇談や発達相談、進路相談の機会を作り、話ができる場を設け、この機会を大切にしている。また、保護者の発信を見逃さないよう対応している。	定期的以外にも、必要時にはいつでも面談の機会を作っていきたい。 保護者から発信しやすいような受入体制を心掛けたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	0	保護者会や役員会、行事係等と連携し、園と協力、相談し合っている。保護者同士の交流の場も設けている。行事については兄弟姉妹の参加も認めている	学習会や行事で集まる機会はあるが、保護者会の意見を聞きつつ集まれる機会を作って行きたい。 きょうだい参加の行事はあるが、きょうだいを対象にした交流はないので、今後の課題として保護者会とも相談していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	申し出があった時、又は園からの気付きがあるときは必ず迅速に対応するよう心掛けている。	すぐに相談できる環境を作り、小さなことでも話せる場があるよう、安心できる所にしていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17	0	毎月のおたよりや、その都度のお知らせを発行している。また、『さくら連絡網』で緊急連絡も発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	同意書をもらい、個人情報保護のうえ保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	こどもへの声掛けについては、なるべくわかりやすく伝えるよう意識している。お知らせ等もわかりやすい記載にしている。	保護者への連絡等は、職員は慣れた中で説明してしまうので、より丁寧に伝えるよう、気をつけていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18	0	行事の招待状や通信などの配付、散歩先での挨拶等を大切にしている。	今後もできる限りの交流を心掛け、子ども達を見守り大事にってもらいたい。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	各マニュアルを策定し、様々な想定訓練を毎月実施している。	おたよりでも実施訓練を都度掲載し、今後も周知に努めたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	BCPを策定し、毎年見直している。また、月一回の避難訓練も実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0	入園時に医師の意見書を提出してもらい、確認している。その他、健康調査等の書類も記入してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0	入園前の聞きとりや医師の意見書を提出してもらい、それを基に指示に従い対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0	常に安全第一に安心していただける保育を心がけて行っている。	

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0	避難訓練等の予定日を、毎月の園だよりに掲載している。また、年3回程度、避難訓練の様子を写真で周知している。	まだ不十分な面があると思うので、家庭でも活かしてもらえよう今後の課題である。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	作成し活用している。 発生した時は、全員に回覧・共有し、事故防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	研修や虐待チェックシートの記入を定期的実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0	現在、対象児はいない。 身体拘束に関する研修を全職員が受講している。	